

令和5年度学校評価まとめ

昨年度の重点目標	基礎的・基本的な学力の確実な定着 基本的な生活習慣の確立 特色ある学校づくり 多忙化解消		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 (教務進路指導部) (各学年会)	生徒の学習習慣を確立し、わかりやすい授業を実践して確かな学力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 「学習強化期間」「居残り学習会」の設定 課題設定・点検の工夫 	<p>教員のアンケートでは授業改善の取り組み具合は昨年度と変わらなかったのですが、生徒・保護者のアンケートでは共に3年連続で授業の理解度が高くなりました。教員はまだまだ改善の余地があると考えているので来年度はさらに理解度の向上に取り組めると思います。基礎力診断テストでも多くの生徒が基礎学力をつけて成績を上げることができています。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立に向けた指導 I C Tを有効に活用した指導 学習意欲の向上に向けた指導 	<p>今年度はスタディプラスというアプリで学習時間を管理して、学習強化期間に学習時間を確保して努力した生徒を表彰したり、教務だよりを発行したりしました。学習時間も増えており、学習時間の確保に向けた指導を今後続けていきます。今年度はI C Tの活用が飛躍的に広がっており、学校全体でI C Tを有効活用できています。</p>
進路指導 (教務進路指導部) (各学年会)	学年、進路希望に応じた進学就職ガイダンスなどを通して、進路意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の提供 面接指導の重視 	<p>昨年度と同様に進路指導への取組に関して、教員、保護者から概ね良好な評価が得られているが、保護者への進路情報の提供が課題です。進路指導方針への理解を深めてもらう努力を継続したいです。就職は1次募集の内定率も良好で、就職指導の成果が出ていると感じます。夏休み中の面接指導などがうまくいったと考えています。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 就業体験 外部講師による講話の設定 	<p>今年度は2年生でインターンシップやオープンキャンパス等を学年全体で行えたのがよかったと思います。総合の時間等で行っている進路ガイダンスは現状で良いという意見が多いので、これをより効果的なものにしていくことが大切だと考えています。</p>
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的な生活習慣を確立させる	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導の実施 	<p>「身だしなみ指導」「遅刻指導」の指導対象にならないように努めているかの問いに対して91.8%の生徒が「そう思う」と答えています。昨年度までと比べ、「身だしなみ指導」に関して大きなトラブル等はありませんが、「遅刻」に関しては昨年度よりも良い数字ではありません。生徒の意識と現状が一致するよう、今後も引き続き声掛けを行っていきたくと考えています。</p>
	規範意識や一般的なマナーに対する意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 交差点での0立番指導の実施 校外巡回指導の実施 コミュニケーション能力の育成 	<p>「授業態度」「言葉遣い」「挨拶」の生活態度に関しては89.0%の生徒が意識を高く持って行動しています。過半数の生徒が就職をするため、社会で通用する人物の育成していけるよう、今後も学年団と協力して一致団結して指導を行っていきたく思います。</p>
生徒会活動 (総務生徒会部) (各学年会)	行事を通して、生徒の愛校心を育む	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な部顧問会議の実施 部日誌を活用した活動状況の把握 各行事における適切な指導ならびに生徒の積極性を促す体制の確立 生徒減少に伴う、行事の取捨選択 	<p>学年も2学年となり人数が少なくなってきましたので、いかにして行事を盛り上げるかが課題となる1年でした。しかし、保護者アンケートにおいて、「行事に対して主体的に楽しめるように工夫しているか」という問いに対して肯定意見が91.1%、生徒アンケートにおいても、「積極的に参加していると思うか」という問いに対して肯定意見が77.4%と、概ね高評価であったのではないかと考えています。次年度はさらに人数が減ってしまいますが、最終年度となりますので、閉校への機運を高められるような行事を考えていきたいです。</p>
P T A活動 (総務生徒会部) (各学年会)	保護者への確実な情報伝達を行う	<ul style="list-style-type: none"> 各種案内文書の工夫 メール配信 「廣表」/ホームページの充実 	<p>お子様を通じて学校からの配布物は概ね受け取っていることがわかりました。今年度は一部重要書類をメールシステムによる配信を開始しました。配布物については一部受け取っていないという回答も多く、メールと印刷物の併用を強化することでさらに確実に受け取ることが出来るように検討いたします。ホームページについては必要に応じて閲覧するという回答が多かったので、更新のお知らせなどをメール配信するなど、連動することでより情報が伝わるよう検討していきます。</p>
	保護者へP T A関係行事への積極的な参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の形態の検討と内容の充実 ホームページの充実 	<p>昨年度同様、学校行事の運営にご協力いただきありがとうございます。生徒数の減少に伴い、行事の実施形態は変わる可能性がありますが、今年行った行事については来年も実施予定であります。引き続きご協力お願いいたします。</p>
学校保健活動 (保健相談部) (各学年会)	環境美化への意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備、環境美化の徹底 教室内に分別用の箱の設置 地域清掃活動の実施 	<p>生徒・保護者のアンケートからは、前年度と比較して校内美化への意識が向上していることが表れました。しかし、職員のアンケートにはごみの収集方法を変更したことについて、前年度までの方が良かったとするものがありました。職員数が減る中で手分けして係分担任しているが、不便さを感じているところと思われます。工夫と相談をしながら、不便さを抑制して、生徒の活動する環境が清潔に保たれるよう、協力よろしく願います。</p>
	自らの健康に対する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の事後指導の徹底 「保健だより」による広報 教育相談との連携 	<p>「保健だより」を保健美化委員の生徒が書く取り組みが定着しました。また、保健室前の掲示も楽しみにして読んでいる生徒が増えました。学校評価アンケートでも、生徒・保護者のプラスの評価が増えており、日頃見られる行動と一致しました。今後も生徒や保護者が健康について関心を高められるように工夫していきます。</p>

いじめ防止 (いじめ・不登校対策委員会)	互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身につけさせる	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に向けて教育相談アンケートの実施と情報把握 学年会と教育相談との連携 	年に2回教育相談アンケート、保健相談部での情報交換を密に行うなどしていじめ防止に向けての情報を把握しています。生徒や保護者からの相談や訴えに、担任や学年の教員、スクールカウンセラーと協力して対応することができました。今後も協力して指導にあたります。
図書館活動 (教務進路指導部) (各学年会)	読書習慣を身につけさせ、豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の実施 購入希望図書調査、選定 「図書館報」の発行 	図書館を利用するという生徒は22%程度と4パーセント増えました。朝読書については生徒の取り組みが良くなったという結果となりました。本の紹介カードや図書コンクールなど朝読書の啓発を行っていききたいと思います。
研修 (教務進路指導部) (各教科会)	授業力・教師力のアップ	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の実施 授業参観の奨励 教科検討会・教科会での情報共有 	昨年度よりも教員のアンケートから研究授業などの自己研鑽に努めることができたという結果が出ました。研修のおかげでICTの活用なども進んでいるように感じます。来年度は教員数がさらに減少することから校内研修が難しいのではないかと懸念しています。
安全教育 (総務生徒会部) (各学年会)	災害に対する知識を深め防災減災に対する意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 本校にあった防災計画の作成 市/連区と連携し避難場所設置についての運営計画を立てる 防災備蓄品の購入 防災(避難)訓練の実施 	避難経路の確認、訓練、消火器等の使用についての訓練を本年度も実施しました。人数が少なくなったことにより避難時間自体は短くなりましたが、来年度はさらに生徒数が減り、移動教室などで分散している場合の安否確認、避難方法を確認する必要があります。少人数の確実な避難と伝達を訓練する方法を検討していきます。家庭での防災の話し合いについては半数が行っていないと回答がありました。災害に向けてご家庭での対策と話し合いを進めていただきますようお願いいたします。
多忙化解消	勤務時間を管理し、長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間の把握 業務の適正化 	今年度、本校教員の80時間を越える在校時間は1.8%(11月現在)になり、さらなる改善が必要ではあるが、多忙化解消の意識が浸透しつつあります。令和2年度から取り組んでいる業務のスリム化や削減の効果が徐々に表れてきたと考えています。また昨年度から、PTAのご理解をいただき、平日の電話対応時間を朝8時～夜6時と設定したことも教員の負担軽減に繋がっています。さらに令和元年度策定された部活動ガイドラインの指針により、年間の休養日を104日以上と設定することで、部顧問の負担軽減等を図っており、今のところ概ね守られています。
総合評価	今年度より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、進路や生徒会の行事や部活動、発表会などを再開し、内容も充実させることができました。しかし、新入生がおらず、生徒数減少による行事や部活動、発表会の見直しを余儀なくされました。少人数であることをプラスに捉えて人数が少ない中でも効果的な教育活動に取り組み、少しずつ成果が表れ始めております。来年度はついに閉校式を控えております。今後も様々な変化に対応しながらより効果的な教育活動に取り組み、入学してきてくれた生徒が尾西高校でよかったと思えるように大団円に向けて進めていきたいと考えています。		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末やプロジェクターなどのICTを有効に活用した授業改善について 基本的な生活習慣を確立させるための遅刻防止指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターを用いた授業に加えてロイロノートやTeamsの有効活用が進み、教員だけでなく生徒もICTを上手く活用できている。 各学年の熱心な遅刻指導にもかかわらず、今年度の遅刻指数はあまり良い数字ではない。引き続き声掛けを行い、少しでも遅刻を減らしていけるよう指導を継続していきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習指導をさらに促進させ、生徒の学習意欲を向上させ、学習習慣の確立にもつなげていきたい。また、もっと少人数教育のメリットを発揮していきたい。 来年度も月1回の遅刻指導強化週間、メール配信による保護者への遅刻防止協力依頼などを実施して継続的に取り組んでいきたい。
その他(学校関係者評価委員 から出された主な意見、 要望)	<ul style="list-style-type: none"> 行事や部活動を少人数で行わなければならない状況で合同チームなど臨機応変に対応していただけている。 少人数ということもあり先生との距離が近く、ICTを上手く使って授業がなされている。 生徒指導のルールについて今までと同じではなく時代に合わせた指導をしていくことが大切である。
学校関係者評価委員会の 構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> 構成・・・学校評議員とPTA役員 評価時期・・・2月上旬